

そろいそろいつた南関東勢

開設69周年平塚記念「湘南ダービー」が今年も5月11日〜14日の日程で開催される。4月川崎記念を制した地元エースの郡司浩平や平塚ホームの和村真久留、桐山敬太郎、松井宏佑ら、三谷竜生、村上博幸、清水裕友、武田豊樹のS班4名をはじめとする全国の強敵を迎え撃つ。なお、最終日第6レースではブロック7も行われる。

ダービーの余韻冷めやらぬ中で行なわれる5月恒例の大会。4月川崎記念を地元エースに相対しい走りでも輝いた郡司浩平が湘南バンクでも輝く。ウイナーズカップで決勝3着と力を見せた郡司は4月小倉を貫録のV、そして川崎記念では、ダービー、ここと続く前半戦の山場で好ダッシュを切った。川崎でも連係した松井宏佑、和村真久留に、桐山敬太郎

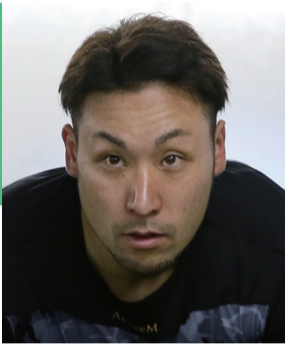
入るホーム戦。先輩の好操縦で迷わずレースを支配していく。もちろん、桐山敬太郎の存在も忘れてはなるまい。3月防府では痛烈な戦いで新鋭・宮本車らを粉砕してVと自在な持ち味は健在。16年以來のホーム記念に燃える。強力地元軍団に、4月西武園決勝でワンツーを決めたばかりの根田空史、中村浩士の師弟コンビ、築田一輝、岡村潤の静岡勢までそろう南関東勢に死傷はない。



清水裕友

も加わって、地元勢の陣容は整っている。勝ち上がり方によって並び、作戦は流動的だが、今の郡司は本来の自力でも番手戦でも不安はない。冷静なレース判断と卓越したスピードで決着を付ける。和村と松井は川崎記念で明暗を分けた。和村はシリーズ2勝も肉離れで途中欠場と不安な状態だ。一方、松井はS級にも慣れて2③②①を着と決勝に進出。強烈ダッシュを生かした先行、まくりで次代のスター候補としてアピールに成功した。今度は一層気合の

三谷竜生、村上博幸のS班コンビに、椎木尾拓哉も加わる近畿勢が対抗していく。三谷は川崎記念が怪我から復帰3戦目でピリッとせず、準決の1勝のみ止まった。しかし、3連覇が懸かるダービーを経ての1戦なら状態はかなり戻っている。持ち前の力強い踏み込みが戻れば、昨年のダービーを制した思い出の地で、南関東を粉砕する一撃が見られるかも。そうなれば村上にもチャンス。スピード競輪に対応すべくタテ脚を磨いてきた成果が今年の記念V2の成績だ。4月高知記念はV逸も、体調不良に苦しみながら準Vは底力だろう。



郡司浩平

全日本選抜で決勝に乗って以降は、落車もあってなかなか調子が上がらない武田豊樹。現状では番手を回しても厳しいが、ダービー、こことコンディショニングを整えればやはり侮れないところ。鈴木竜士とはウィナーズカップ初日特選をはじめ何度も連係があるので呼吸は合う。4月四日市では南潤をまわってVの鈴木がダッシュ良く主導権を奪う展開なら意地を見せたいところ。

三谷竜生

さらに小松崎大地、大槻寛徳らの北勢も一発を秘めるし、川崎記念を優参の松岡貴久も巧者ぶりを発揮してきそう。

HEY, GIRLS!

TOKYO PERFORMANCE DOLL



5/11 SAT 12 SUN 13 MON 14 TUE

開設69周年記念 湘南ダービー

開門時間(4日間) 09:45

湘南バンク 祝賀



三谷竜生

平塚記念 出場予定選手

Table with columns for rider names, registration numbers, and race results. Includes sections for main members and a 12-race performance record.

※2019年4月29日現在のデータです。